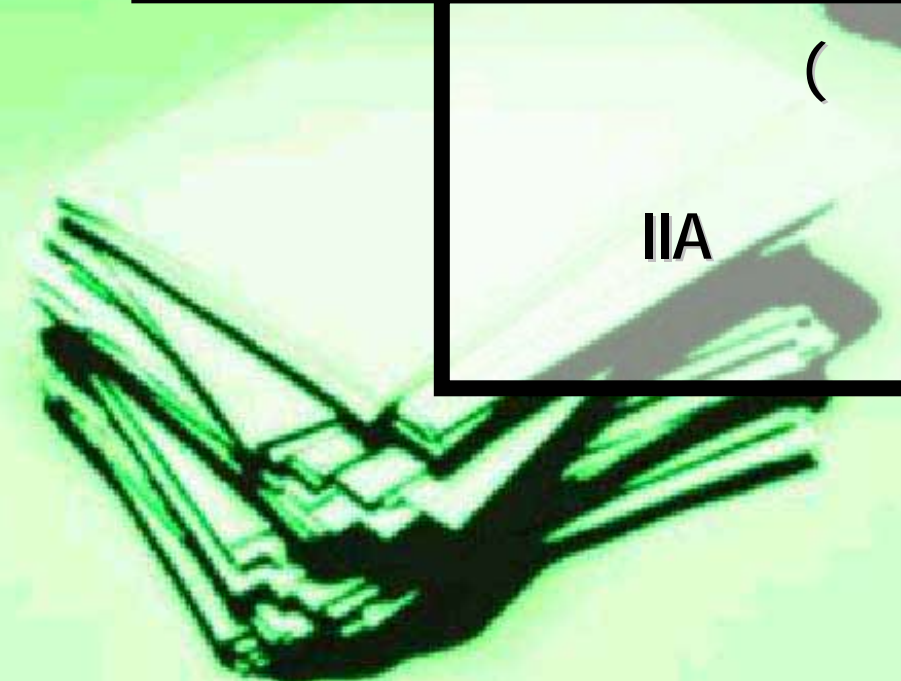





内部監査の品質評価

-次なる内部監査のステージへ

金融高度化セミナー 2008.6.6



(社)日本内部監査協会
主任研究員 森田卓哉



IIA国際本部品質評価委員会 委員
CIA、CISA、CISM、システム監査技術者

The Time for Quality is Now

内部監査の品質評価 次なる内部監査のステージへ

-今日お伝えしたいこと-

- Part 1 内部監査の品質評価とは
- Part 2 次なる内部監査のステージに向けた、
外部品質評価を体験
- Part 3 品質評価、
世界の状況、日本の状況
- Part 4 わが国における今後の針路

日本内部監査協会のご紹介

社団法人日本内部監査協会 主務官庁:金融庁 設立2007

日本内部監査人協会(前身) 設立1957

会員:

民間企業・官公庁・公共事業体などあらゆる組織体の内部監査
またはこれらに関連する業務にたずさわる方々と学識経験者等
をもって構成。法人会員:1952 個人会員:1102 (2008.3)

活動:

内部監査及び関連する諸分野についての理論及び実務の
研究、並びに内部監査の品質及び内部監査人の専門的能
力の向上を推進するとともに、内部監査に関する知識を広く
一般に普及することにより、わが国産業、経済の健全な発展
に資することを目的に活動。

また、国際的な内部監査の専門団体である内部監査人協会
(The Institute of Internal Auditors, Inc. IIA)の日本代表機関
として、世界的な交流を行うとともに、内部監査人の国際資
格である「公認内部監査人(Certified Internal Auditor :CIA)」
等の認定試験を実施。

The Time for Quality is Now

国内 / 海外ネットワーク

内部監査人協会 (The Institute of Internal Auditors)



本部 (米国フロリダ)

165ヶ国、
157(千)会員

(社) 日本内部監査協会 (The institute of Internal Auditors-Japan)



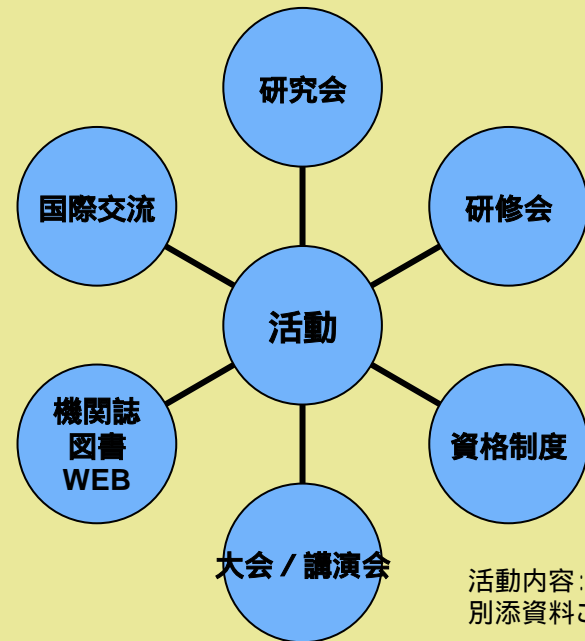
東京本部



大阪支部



木場 (東京) 研修室



活動内容:
別添資料ご参照

The Time for Quality is Now

Part 1 内部監査の品質評価とは

The Time for Quality is Now



The Time for Quality is Now

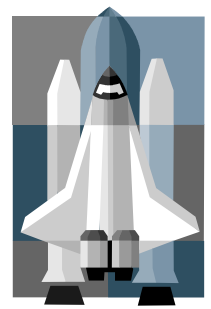
品質評価とは？



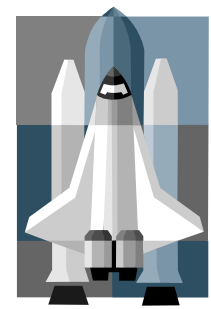
CIA (公認内部監査人)



品質評価



個人の能力UP



監査部門の能力UP

The Time for Quality is Now

外部品質評価とは？

独立した



内部監査部門

評価
改善

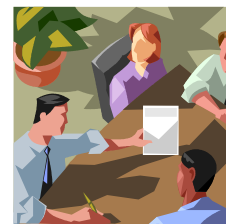
リスクマネジメント、コントロール、ガバナンスの各プロセスの有効性



組織体

組織体の運営に関し価値を付加し、また改善することに役立つ。
組織体の目標達成に役立つ

独立した



外部品質評価(チーム)

評価
改善

基準および倫理綱要への適合
内部監査部門の有効性と効率性
リーディングプラクティスの使用



内部監査部門

内部監査部門が組織体の運営に価値を付加し、また改善することに役立つ。また内部監査部門が基準及び倫理綱要に適合していることのアシュアランスを提供する

外部品質評価方法は2種類

2方法あり、フル品質評価QA or SAIV(セイブ)を選択

フル品質評価QA

Full External Quality Assessment



基準および倫理綱要への適合
内部監査部門の有効性と効率性
リーディングプラクティスの使用

何を

誰向け

大小監査部門

監査部門
の準備

事前準備資料を提出
(Tool 2)

訪問期間

1-2週間

評価

独立した外部評価者(チーム)
が評価

SAIV(セイブ)

Self Assessment with Independent Validation
自己評価と独立した検証



基準および倫理綱要への適合中心

大小監査部門

自己評価報告書を提出
(Tool2A,12,13,14,15,16,17,18,19,20C*)

2-5日

独立した外部評価者(チーム)
が、監査部門が実施した自己
評価を検証

内部品質評価とは

内部品質評価は2種類あり、両方必須

The Time for Quality is Now

種類	誰が	いつ	何を	どうやって	部内報告	報告
内部の 継続的 レビュー	 内部監査部門 のメンバー	日常的 内部監査部門の日常の管理に組み入れて実施する	監査手続きの遵守、監査対象部門やその他の利害関係者からのフィードバック、予算、監査時間、監査計画の完了状況などをレビュー	各監査部門の定める手続きによる	内部監査部門長あて	-
内部の 定期的 評価	 内部監査部門 (自己評価) OR 同じ組織の内部監査部門以外にたまたま配属されているCIAや有能な監査の専門家など	定期的 に実施する (例、年1回)	a)基準、倫理綱要、基本規定の遵守状況 b)内部監査部門の効率性、有効性 c) aとbに加えてリーディング(ベスト)プラクティスの使用を含む場合がある	IIAの品質評価マニュアルや類似のガイダンスやツールを使用	内部監査部門長あて	内部評価の結果、必要な改善計画、及びその実施状況を、最高経営責任者、取締役会、外部監査人等のなかの適切な人に報告すべきである

外部評価が自己評価と独立した検証の形式SAIVをとるとき、内部の定期的評価は、自己評価と独立した検証の自己評価の一部とすることができる場合がある

内部監査人協会 (IIA) の基準

内部監査の専門職的 実施の国際基準

実践要綱

専門職的実施の
フレームワーク



日本語版2006発行
2005年4月までの改
定を含む

最新情報は、IIA国際
本部会員向けWEB
サイトで検索可能

1300 品質の保証改善プログラム	1300 - 1 品質の保証改善プログラム
1310 品質プログラムの評価	1310 - 1 品質プログラムの評価 *
1311 内部評価	1311 - 1 内部評価 *
1312 外部評価 *	1311 - 2 内部監査の業績のレ ビューを支援する指標の確立 *
1320 品質プログラムの報告	1312 - 1 外部評価(フルのQA) *
1330 基準に従って実施された旨の 表現の使用	1312 - 2 外部評価 - 自己評価と独立した検証(SAIV) *
1340 不完全な遵守の開示	1320 - 1 品質プログラムの報告
	1330 - 1 基準に従って実施された旨 の表現の使用

* 国際基準1312は2007.1更新

* 実践要綱1310 - 1、1311 - 1、1312 - 1、1312 - 2、1320 - 1は2007.5更新 1311 - 2 2005.9に公表

The Time for Quality is Now

日本内部監査協会の基準

内部監査基準 (2004.6)

(4) 内部監査の品質管理

1. 品質管理プログラムの作成と保持

2. 品質管理プログラムによる評価の実施

3. 品質管理プログラムによる評価結果の報告

4. 「基準に従って実施された」旨の記載

5. 不完全な遵守の開示

内部監査基準実践要綱 (2006.6)

(4) 内部監査の品質管理

1. 品質管理プログラムの作成と保持

2. 品質管理プログラムによる評価の実施

3. 品質管理プログラムによる評価結果の報告

4. 「基準に従って実施された」旨の記載

5. 不完全な遵守の開示

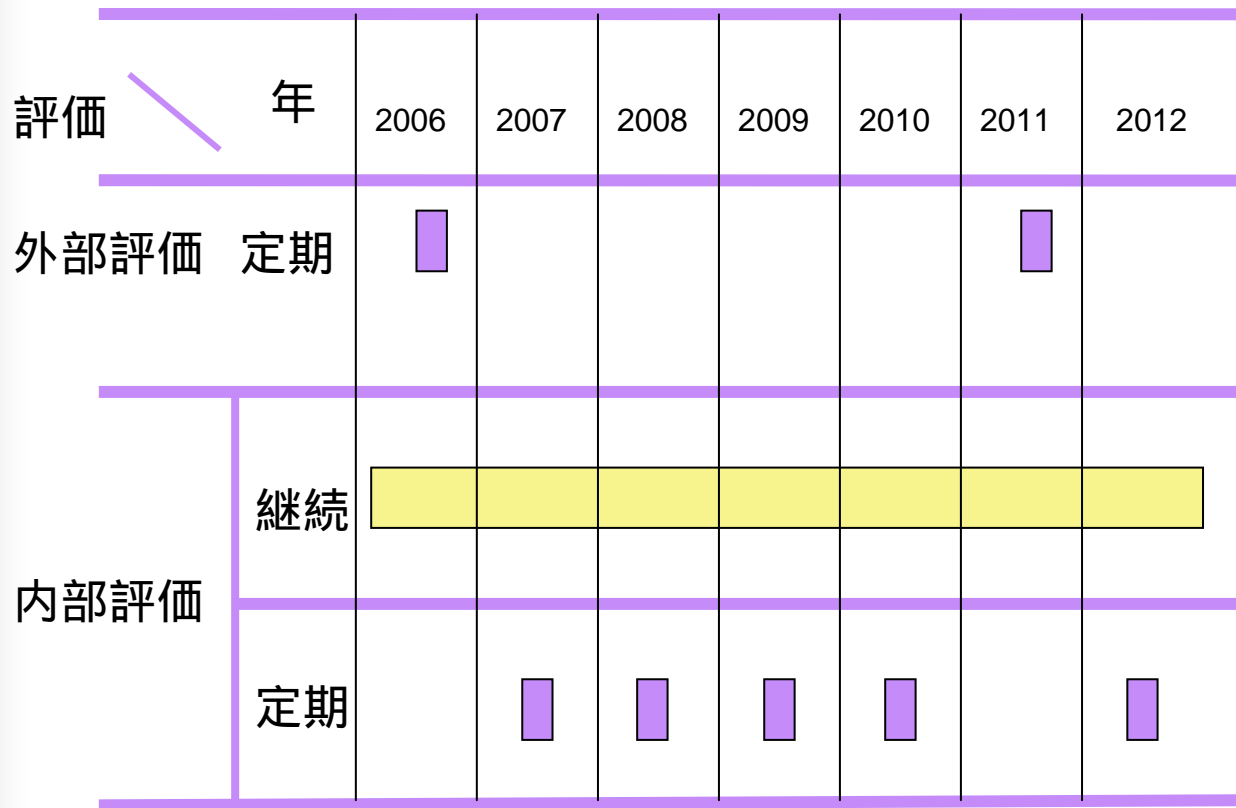
日本内部監査協会のWEBサイトで参照可能

The Time for Quality is Now

The Time for Quality is Now

品質評価の実施タイミング

内部評価(継続 / 定期)、外部評価の実施タイミング例



The Time for Quality is Now

品質評価マニュアル

マニュアルは、本文(1 - 5章)とツール(1 - 20)に分かれる

版	Edition4	Edition5 V1.0	Edition5 V1.1
英語	<p>本文</p> <p>ツール</p> <p>2002</p>	<p>本文</p> <p>ツール</p> <p>2006.5</p> <p>主はツールの 変更だった</p>	<p>本文</p> <p>ツール</p> <p>2007.7 * 最新版</p>
日本語	<p>本文とツールを翻訳公表</p> <p>本文</p> <p>ツール</p> <p>2003.4</p>	<p>+</p> <p>ツールの部分に 限定し翻訳公表</p> <p>月刊監査研究 2006年11月号</p> <p>2006.11</p>	<p>全文翻訳公表予定</p> <p>2008年度</p>

* IIA国際本部会員向けWEBに全文PDF英文版無料公開中

!! A国際本部のWEBにログイン - 上部のメニューからProfessional Guidanceを選択 - Qualityを選択 - 右側の下から二番目、Quality Assessment Resourcesを選択 - 上から5番目くらいの選択肢、Quality Assessment Manual 5thEditionを選択 - 右上にあるDown Load Quality Assessment Manual (Does not include tools in Word) English Version 1.1を選択 - マニュアル全部(PDF)を無料でダウンロードできます。

(注) ワードでないの書き込みができません。本部からCD - ROM(ワード)付のマニュアル(英文)が販売されています。

Part 2 次なる内部監査のステージ に向けた、外部品質評価を体験

II A 外部品質評価チームに参加しよう

The Time for Quality is Now

The Time for Quality is Now

IIA外部品質評価チーム

これは仮想のチームで、実在しません



アルフレド



メアリ

IIA外部品質評価チームリーダー

品質評価毎の契約職員

IIA外部品質評価チームアドボケート

品質評価毎の契約職員



ジョージ



タク

IIA外部品質評価チームメンバー

品質評価毎のボランティア

品質評価を受ける内部監査部門

内部監査部門



組織名称: スマート銀行 (仮想の内部監査部門で、実在しません)
内部監査部門のスタッフ :30人
スタッフの保有する公認資格: CIA:8, CPA:3, CISA:2
従業員数:10000人

The Time for Quality is Now

チーム構成と、監査部門の規模

The Time for Quality is Now

内部監査部門
の規模

リーダ

アドボケート

メンバ

フル品質評価QA

小



中



大



(チーム規模は最大5人程度)

SAIV

小 - 中



中 - 大



(チーム規模は最大2人程度)

外部評価実施者に必要な能力と経験

外部評価の実施およびその結果の報告は、(内部監査の)専門的判断が要求される。したがって外部評価の実施者は次の全ての条件を満たすことが必要である。

条件

リーダ アドボケート メンバ



		リーダ	アドボケート	メンバ
基本適性 (メンバー)	適格な評価を提供できるよう、IIAの「基準」について最新かつ深い知識を保有する、有能かつ公認資格を保有する(内部)監査の専門家であること	Y	Y	Y
	(内部監査の)専門的職業のベストプラクティスに熟達していること	Y	Y	Y
	マネージメントレベルで、最低でも3年以上の、内部監査または内部監査に関するコンサルティングの最近の実務経験があること	Y	Y	Y
付加適性 (リーダ)	IIAの実施する品質評価講習会、または同様な講習会に参加し、その課程を完了していること	Y	Y	望ましい
	内部監査部門長(CAE)または同様な内部監査部門のマネージメント経験があること	Y	Y	-
	外部評価のチームメンバーとして以前に実施したQA作業から得られたQAの能力と経験	Y	Y	-
	外部評価のアドボケートとして以前に実施したQA作業から得られたQAの能力と経験	望ましい	-	-

The Time for Quality is Now



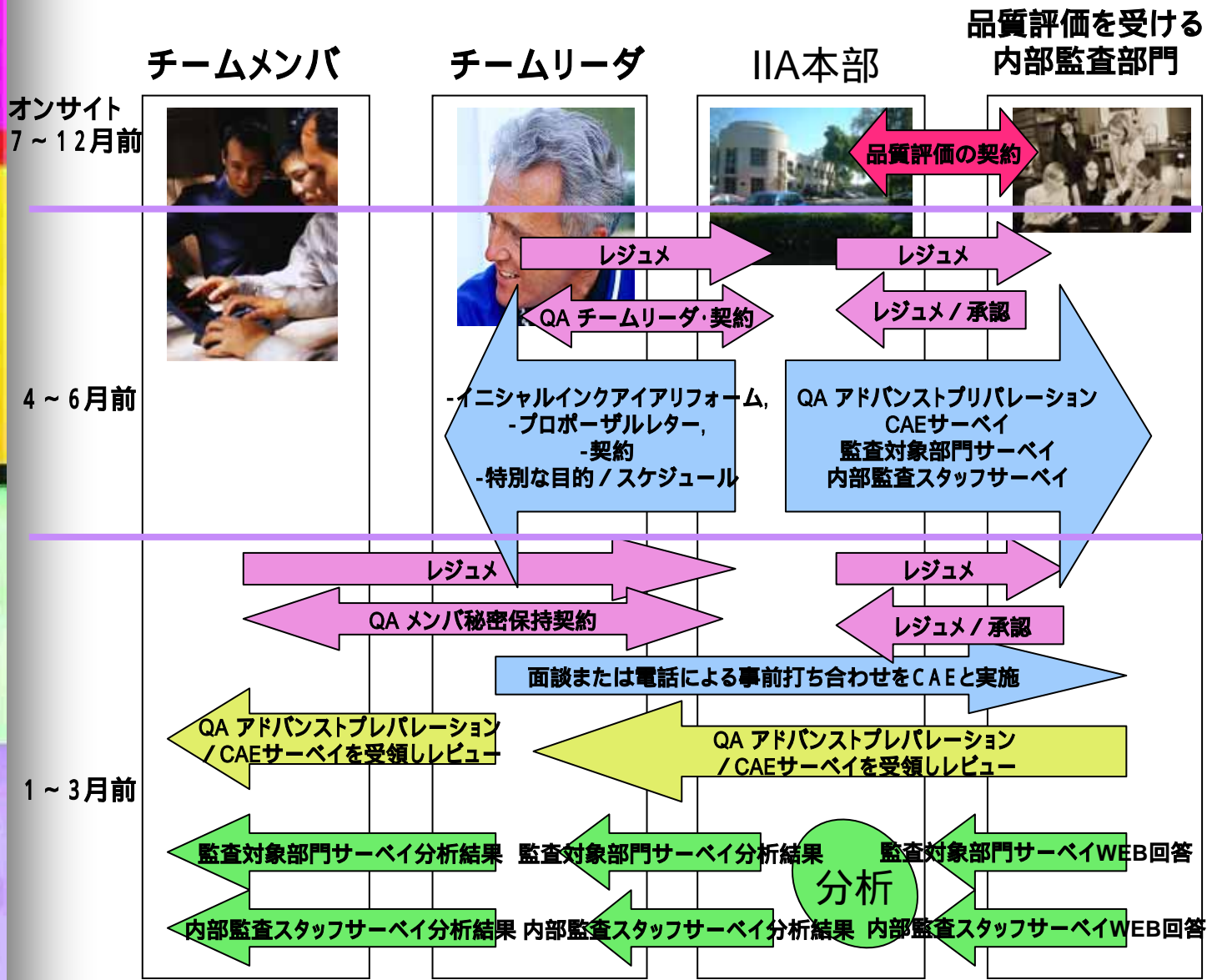
外部品質評価のSTEP

- | | |
|-------------|--------------------|
| STEP1 | 準備 |
| STEP2 - (1) | オンサイト 前日、作業分担 |
| STEP2 - (2) | オンサイト 評価作業 |
| STEP2 - (3) | オンサイト クロージングミーティング |
| STEP3 | 報告書作成プロセス |

The Time for Quality is Now

STEP1- 準備

The Time for Quality is Now



STEP2-1 オンサイト 前日、作業分担

午後3時に現地ホテルに集合、リーダーはメンバの実力をみて、作業分担を決める



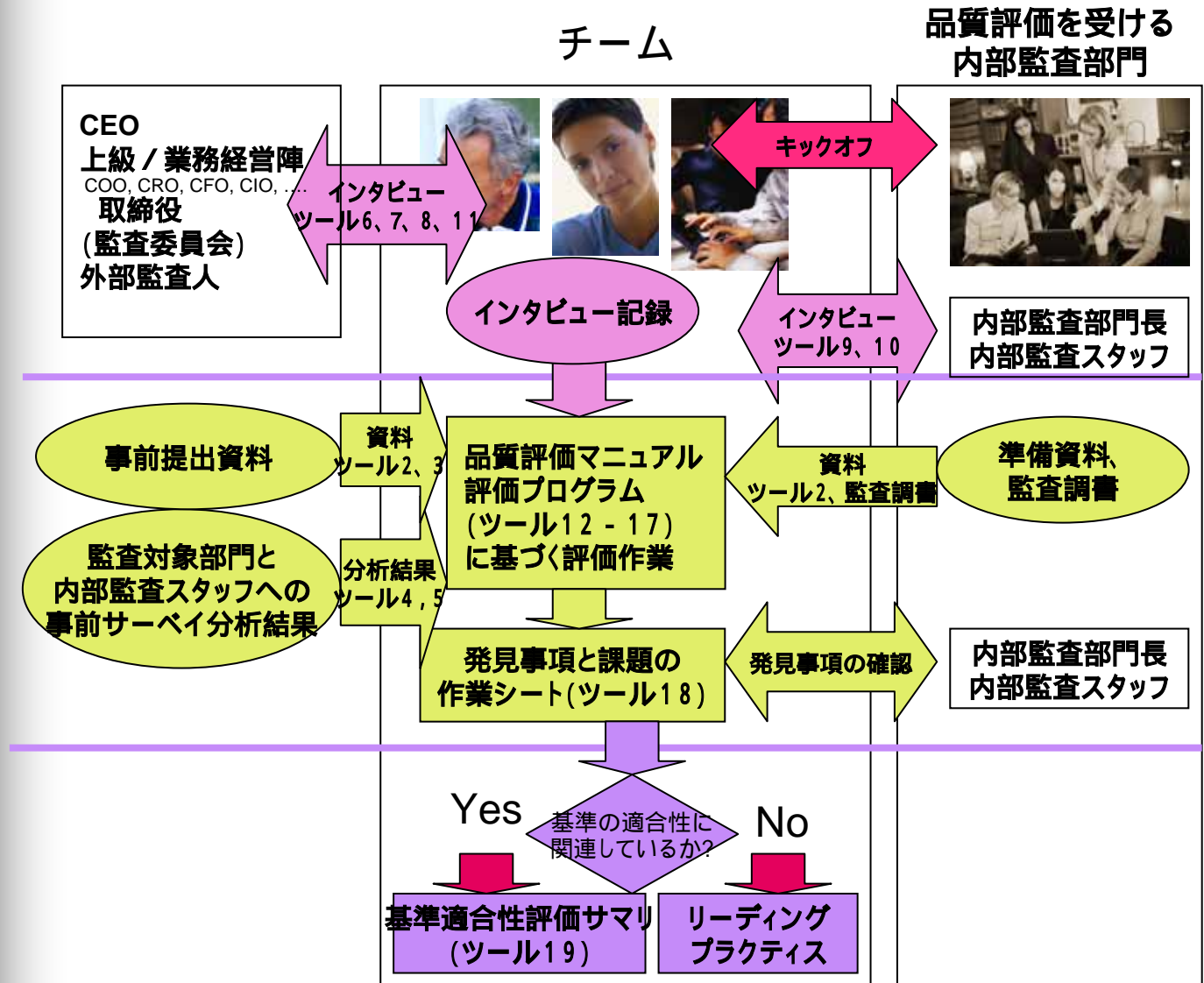
アルフレド メアリ ジョージ タク

Tool 1 事前準備と計画策定	X	X	X	X	
Tool 2 品質評価事前準備	X	X	X	X	
Tool 3 内部監査部門長(CAE)質問書	X	X	X	X	
Tool 4 監査対象部門調査書	X	X	X	X	
Tool 5 内部監査部門スタッフ調査書	X	X	X	X	
Tool 6 インタビュー取締役会(監査委員会)メンバ	X	X			Mon 7, 11am
Tool 7 インタビュー - 内部監査部門長の報告先である経営陣	X			X	Mon 7, 10am
Tool 8 インタビュー - 上級経営陣および業務経営陣 Mr. ABC COO MS. BCD CFO	X		X	X	Mon 7, 2pm Mon 7, 3pm
Tool 9 インタビュー - 内部監査部門長		X	X		Mon 7, 4pm
Tool 10 インタビュー内部監査部門スタッフ Mr. ABC COO MS. BCD CFO	X		X	X	Tue 8, 9am Tue 8, 11am
Tool 11 外部監査人	X		X		Tue 8, 2pm
Tool 12 内部監査部門の構造と責任		X	X		
Tool 13 リスク評価と監査計画	X				
Tool 14 スタッフの熟練した専門能力		X			
Tool 15 情報技術(IT)				X	
Tool 16 生産性の評価及び付加価値			X		
Tool 17 計画策定と業務実施、監査調査のレビュー、監査報告書及びモニタリング・プロセス		X			
Tool 18 発見事項と課題の作業シート	X	X	X	X	
Tool 19 基準適合性- 評価サマリー	X	X	X	X	

The Time for Quality is Now

STEP2-2 オンサイト、評価作業

The Time for Quality is Now



The Time for Quality is Now

品質評価ツールとは？

STEP1 準備 計画、事前準備、サーベイ

Tool 1

チームリーダーの計画準備段階のチェックリスト

Tool2

事前準備

Tool 3-5

サーベイ

STEP2 評価作業 インタビューガイド

Tool 6-11

インタビュー

適切な場合は、追加情報を得る

監査調書
ワークペーパー

STEP2 評価作業

品質評価プログラム

次のQAプログラムは上記情報に基づいて実施される

Tool12

内部監査部門の構造と責任

Tool13

リスク評価と監査計画

Tool14

スタッフの熟練した専門能力

Tool15

情報技術 (IT)

Tool16

生産性の評価及び付加価値

Tool17

計画策定と業務実施、監査調書のレビュー、監査報告書及びモニタリング・プロセス

各リコメンデーションの候補と顕著な事項はチームでレビューをするためにツール18を作成する

STEP2 評価作業 結果評価

Tool18

基準の適合性に関連している発見事項と課題の作業シート

Tool18

リーディングプラクティスに関連している発見事項と課題の作業シート

Tool19

基準適合性 評価サマリー

Tool20

報告書

STEP3 報告書作成

(STEP2で用いたツール例-1)

Tool 13 リスク評価と監査計画

(一部抜粋)

I. 計画策定(IIA基準2000、2010、2010.A1)

D. 監査計画

1. リスク評価結果が、どのように監査計画の策定に使用されたかを評価しなさい。下記の事を考慮しなさい。
 - 内部監査部門は、承認された監査頻度のガイドラインに従っているか。
 - 各監査可能対象毎の、監査時間は、どのように割り当てられたか。
 - 適用可能な場合、内部監査部門が、他の監査グループ、例えば、外部監査人や環境監査人等と、適切に調整を行っているかどうかを判断する。(ツール11)
 - 監査計画に影響を与える可能性のある、懸念事項や課題について、顧客[監査対象]である経営陣は、[内部監査部門から]意見を求められているか。
 - 監査計画は、トピックの中の、重要なリスクに、焦点をあてているか？
 - 監査計画に、報告済の監査上のコメントや勧告について、有効かつ適時に、改善措置が実施されるための、フォローアップの時間が、適切に、含まれているか。
2. 内部監査部門長とそのチームが、最終の監査計画に至る、計画策定プロセスに、どのように関与しているかを評価しなさい。
3. 監査計画が、監査委員会あるいは責任ある経営陣の承認を得ていたか、又、監査計画が取締役会や上級経営陣からのニーズ及び要請された事項を、含んでいたかどうか、判断しなさい。
4. 監査のプロセス及び実践の合理化、スタッフへの権限委譲、技術の活用、セルフアセスメント、チーム監査、そしてその他の監査期間を短縮し費用対効果を改善するための機会が、監査計画の策定プロセスにどのように適用されていたか/いなかったかを評価する。
5. 「付加価値」の戒律[discipline]が、計画段階で、どのように適用されているか、否か、評価しなさい。
6. リスク分析プロセスの結果から策定された、監査計画の適切性についての、結論を出しなさい。

(STEP2で用いたツール例-2)

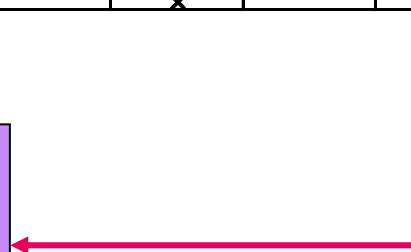
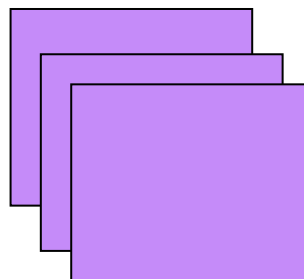
Tool 19 基準適合性評価サマリー

(一部抜粋)

基準適合性評価サマリー(ツール19)	GC	PC	DNC
1. 人的基準	x		
1000 目的、権限、および責任	x		
1100 独立性と客観性	x		
1110 組織上の独立性	x		
1120 個人の客観性	x		
1130 独立性または客観性の侵害	x		
1200 熟達した専門的能力および専門職としての正当な注意	x		
1210 熟達した専門的能力	x		
1220 専門職としての正当な注意	x		
1230 継続的な専門的能力の研鑽	x		
1300 品質の保証・改善プログラム		x	
1310 品質プログラムの評価		x	
1311 内部評価			x
1312 外部評価	x		
1320 品質プログラムの報告	x		
1330 「基準に従って実施された」旨の表示	x		
1340 不完全な遵守の開示	x		
2. 実施基準	x		
2000 内部監査部門の管理	x		
2010	x		

発見事項と改善提案

該当基準番号付



The Time for Quality is Now

STEP2-(3) オンサイト、 クロージングミーティング

The Time for Quality is Now

- 品質評価の範囲
 - 内部監査の役割と関係
 - 内部監査部門の組織
 - プロセスと品質評価プログラム
 - リスクアセスメントと監査の計画
 - スタッフの専門的熟達
 - 情報技術
 - 生産物と付加価値
 - 監査調書、報告書のサンプル
 - 監査対象部門のサーベイ
 - 内部監査部門のスタッフサーベイ
 - CEOのインタビュー
 - 監査委員会の議長のインタビュー
 - 他のマネージメントのインタビュー
 - 外部監査人のインタビュー
 - 内部監査部門スタッフのインタビュー
- 評価の基準
 - 基準への適合性に関する総合意見
 - 良好な側面
 - 監査対象部門へのサーベイ
 - 内部監査部門スタッフへのサーベイ
 - 改善提案
 - 報告書発行プロセス
 - ドラフト、回答、最終

品質評価
チーム

品質評価を受ける
内部監査部門



STEP3- 報告書作成プロセス

1～2ヶ月間



- 外部評価報告書の構成 -

■ エクゼクティブサマリ

- Part I AAA 会社の上級経営陣への提言
- Part II 内部監査部門長への提言
- 基準への適合性に関する意見

■ 発見事項と改善提案

- Part I AAA 会社の上級経営陣への提言
 - 1. (成功事例)
- Part II 内部監査部門長への提言
 - 1. (基準 XXXX, XXXX, XXXX)
 - 2. (基準 XXXX, 実践要綱 XXXX)
 - 3. (基準 XXXX)
 - 4. (基準 XXXX)
 - 5. (基準 XXXX)
 - 6. (成功事例)
 - 7. (実践要綱 XXXX.AX)
 - 8. (成功事例)
 - 9. (実践要綱 XXXX-X)
 - 10. (成功事例)
 - 11. (実践要綱 XXXX-X.X)
 - 12. (成功事例)

- 添付 基準適合性評価サマリー

The Time for Quality is Now

The Time for Quality is Now

IIAの品質評価のフィードバック

内部監査部門からのフィードバック結果(2007)

フィードバックのレーティング例	Excellent	Good	Fair	Poor
リーダーとアドボケートのスキル	82%	18%	0%	0%
レビュー目的の達成	74%	22%	4%	0%
改善提案が建設的	70%	30%	0%	0%

フィードバック自由コメントの例
評価チームは真の内部監査の経験に富み、とても客観的だ
内部監査部門が、自ら改善すべき課題を認識し、その優先度を整理するのを、評価チームは上手に支援してくれた
報告書のコメントはよくできていて、公正でバランスのとれたものだ
我々の価値を向上するのに、何をしたら良いかがわかった

The Time for Quality is Now

Part 3 品質評価、 世界の状況、日本の状況

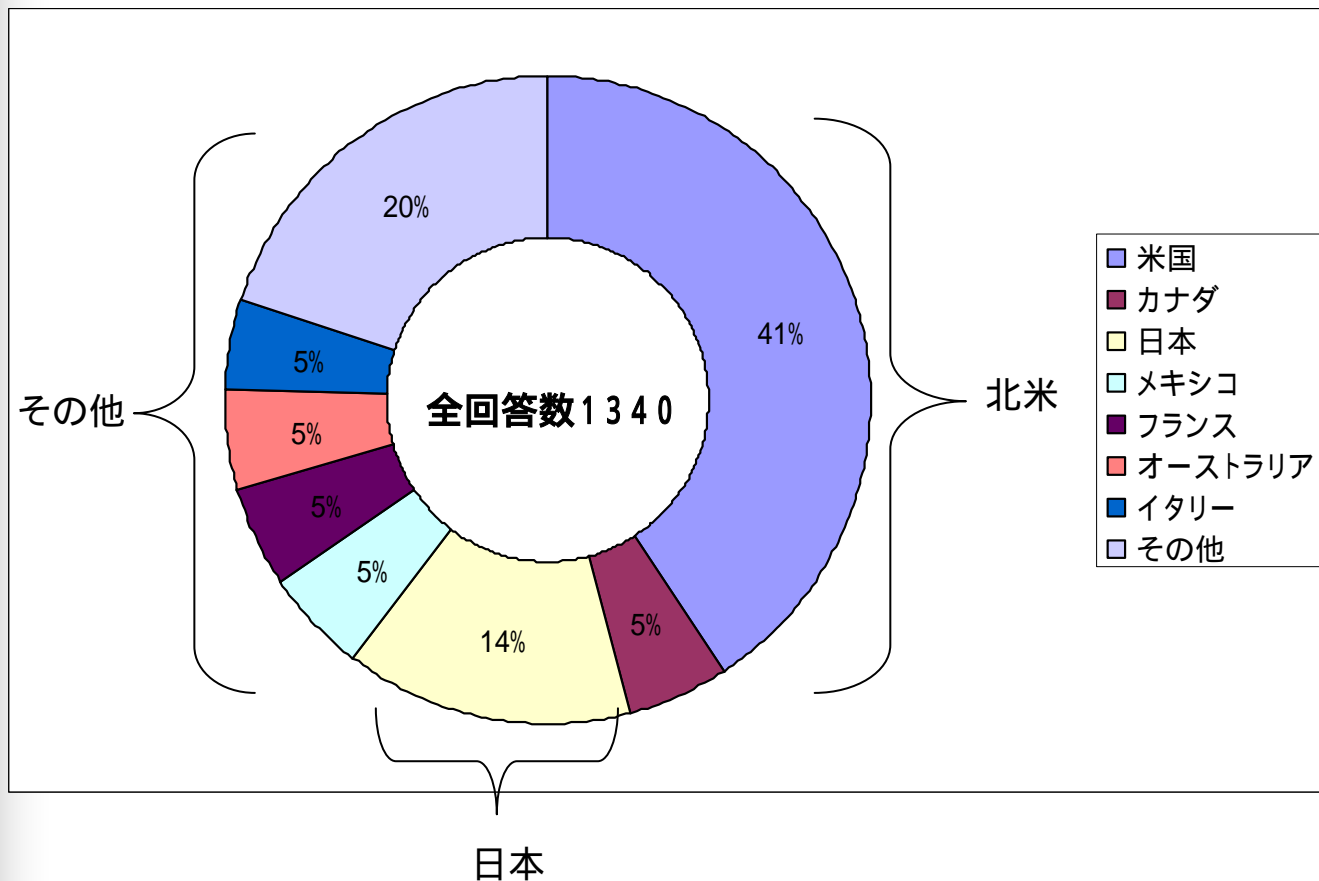
品質評価の進捗状況に関する年次調査結果

(内部監査部門長へのグローバルサーベイ - 2007.5実施)



2007年の調査に参加した国

貴職の組織が所在する、国/地域をドロップダウンリストから選択してください。

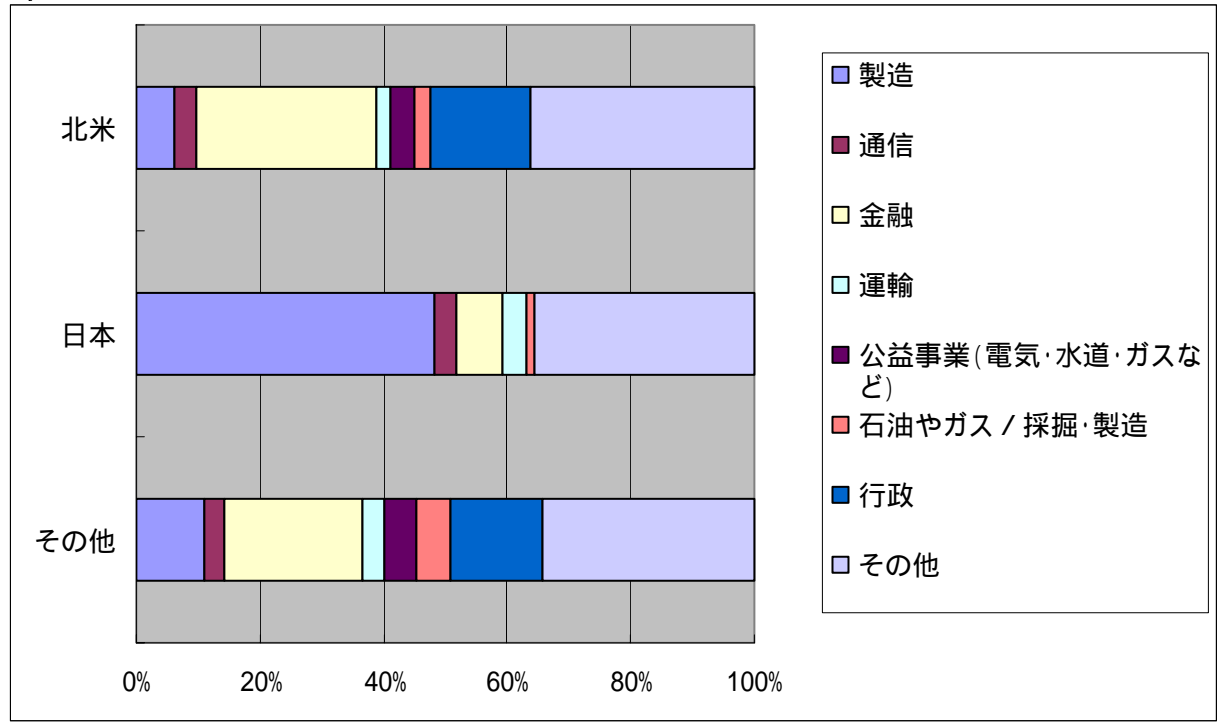


The Time for Quality is Now

調査に参加した組織の所属産業

貴職の組織に該当する産業を下記の一覧から選択してください。

- 1) 製造
- 2) 電気通信
- 3) 金融サービス
- 4) 運輸
- 5) 公益事業(電気・水道・ガスなど)
- 6) 石油やガス / 採掘 / 製造
- 7) 行政
- 8) その他

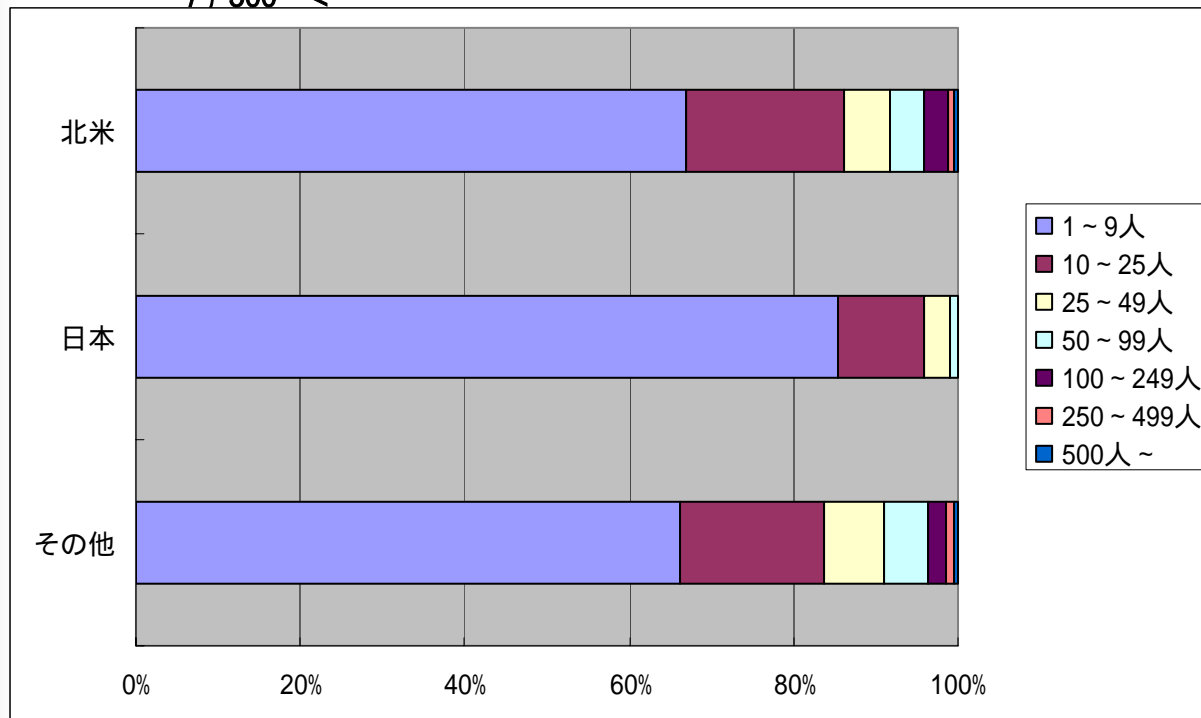


The Time for Quality is Now

調査に参加した監査部門の規模

貴職の内部監査部門には、フルタイム換算で何人の内部監査人がおられますか。

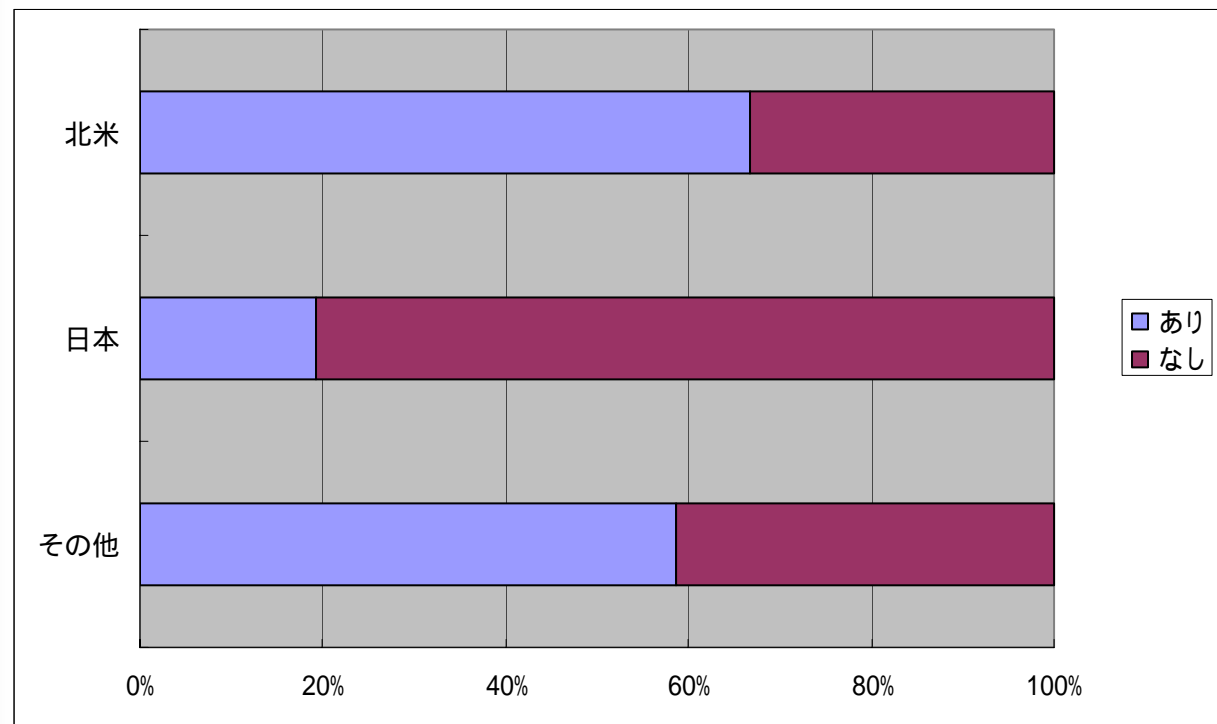
- 1) 1 - 9
- 2) 10 - 24
- 3) 25 - 49
- 4) 50 - 99
- 5) 100 - 249
- 6) 250 - 499
- 7) 500 - <



The Time for Quality is Now

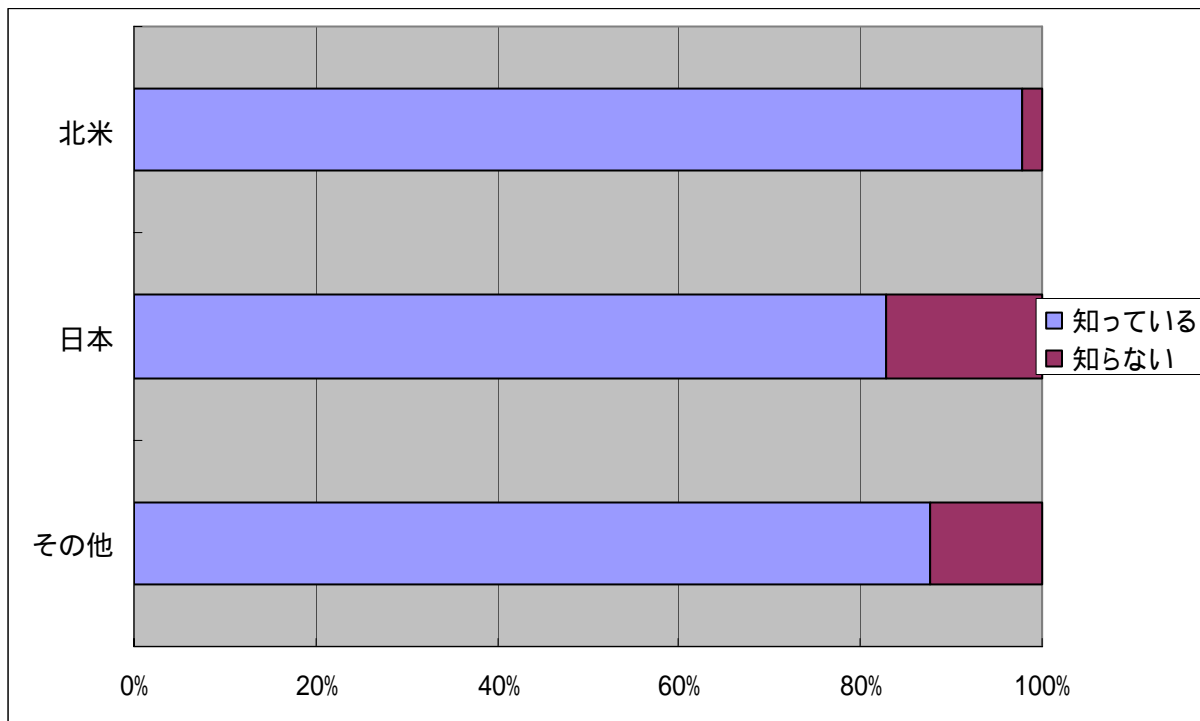
「品質の保証および改善のプログラム」 はありますか

1. 貴職の内部監査部門には、「品質の保証および改善のプログラム(*1)」はありますか。
(*1:内部監査の専門職的实施の国際基準1300に定義)



外部評価の基準について 知っていますか

II. 貴職は、最低5年に一度の外部品質評価は必須と規定している「内部監査の専門職的実施の国際基準(基準)1312」についてご存知ですか。

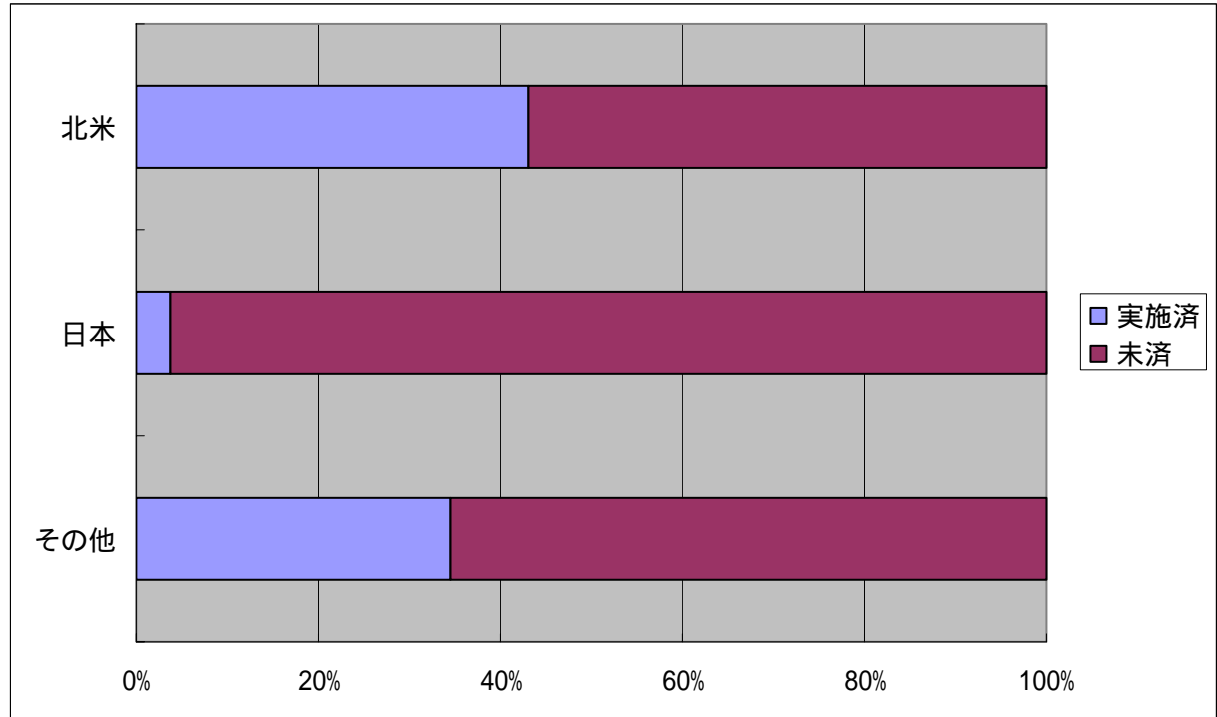


The Time for Quality is Now

外部評価は実施済ですか

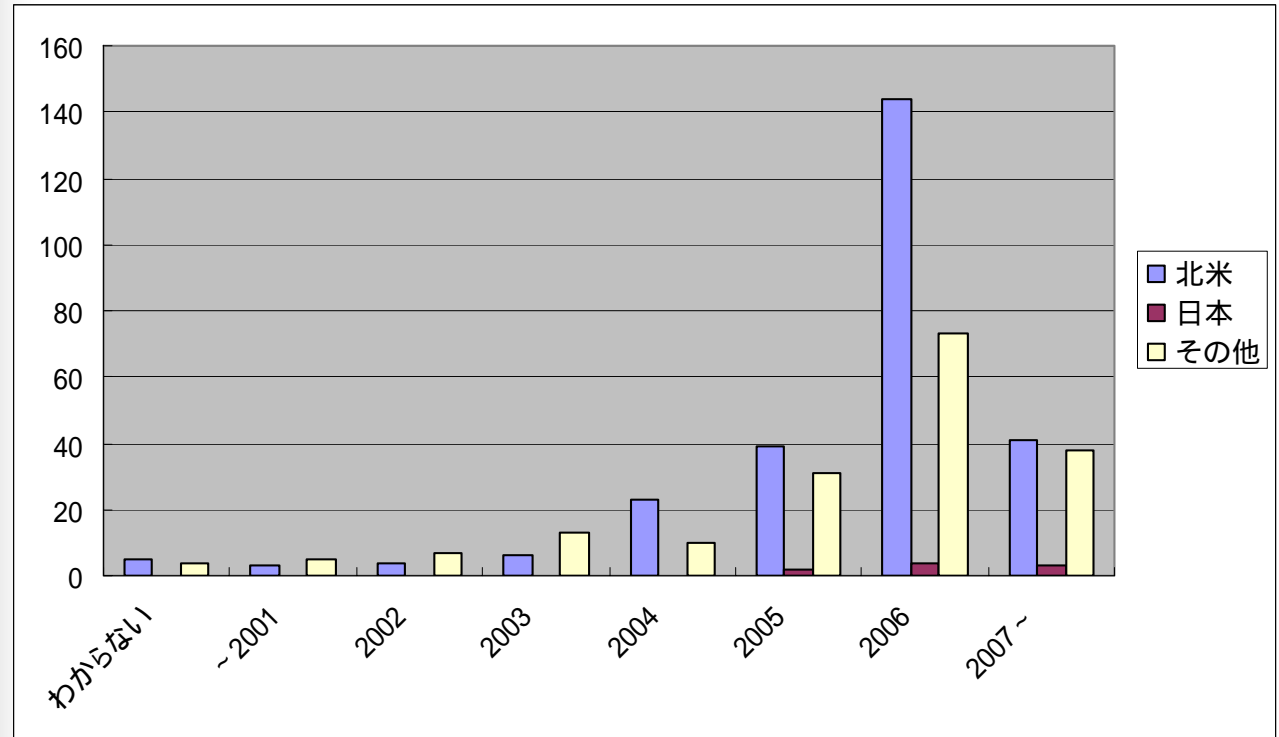
The Time for Quality is Now

III. 貴職の内部監査部門について、外部品質評価は実施済ですか。



外部評価はいつ実施されましたか

IX. 外部評価はいつ実施されましたか。

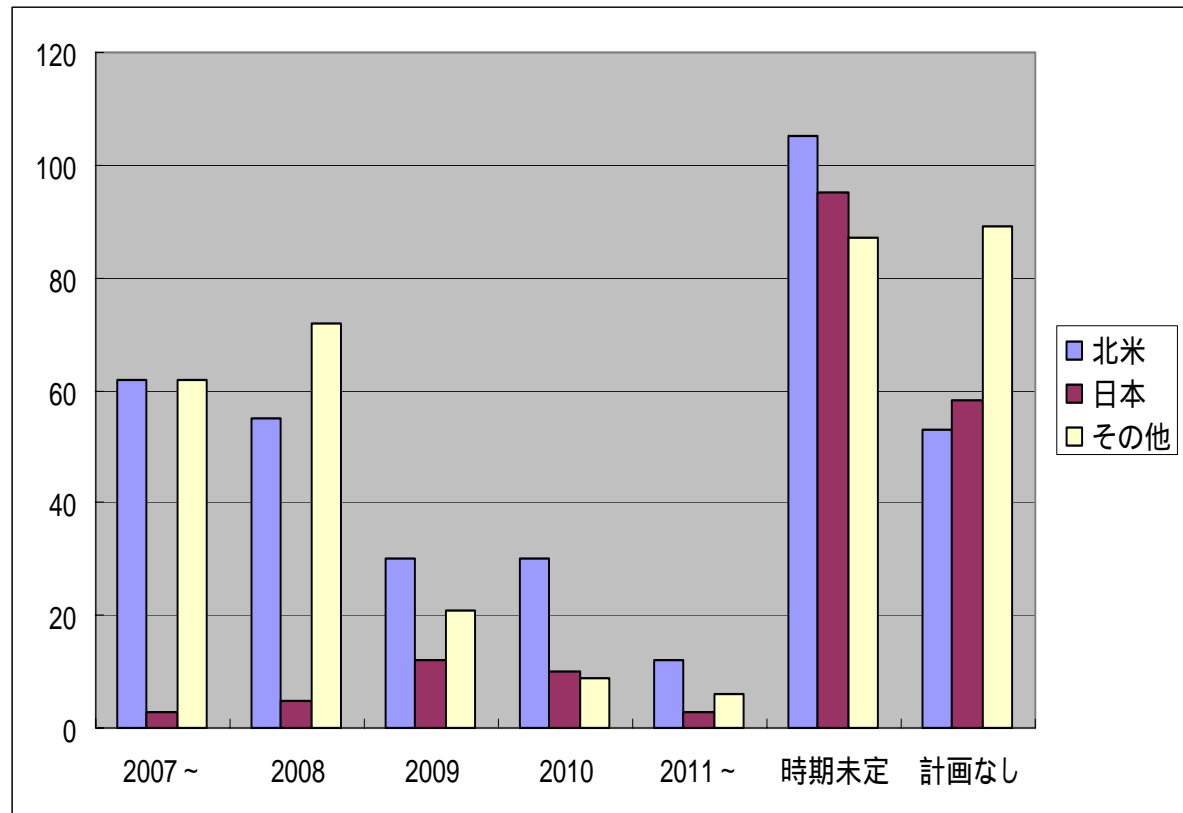


The Time for Quality is Now

The Time for Quality is Now

外部評価を実施していない場合、 いつごろ実施されるお考えですか

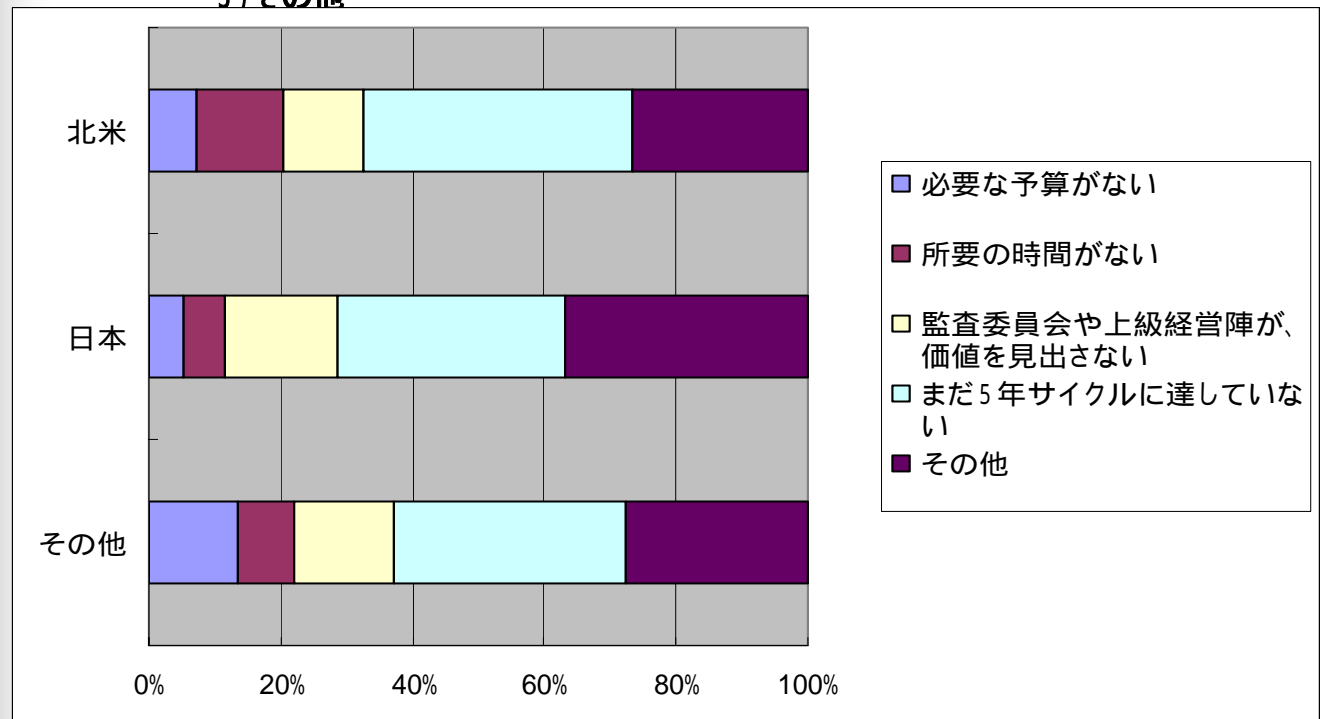
X. まだ貴職の内部監査部門が外部品質評価を実施していない場合、いつごろ実施しようと計画されておられますか。



外部評価を実施されていない 第一の理由はなんですか

XII. 今日まで、外部品質評価を実施されていない、第一の理由はなんですか。

- 1) 必要な予算がない
- 2) 所要の時間がない
- 3) 監査委員会や上級経営陣が、価値を見出さない
- 4) まだ5年サイクルに達していない
- 5) その他



The Time for Quality is Now

外部評価を実施されていない その他の主な理由(日本)

- 外部評価の概要、評価方法の情報がない
- 評価委託先、予算の情報がない
- 品質評価能力を持つ専門家が本邦に見当たらない
- 必要性の認識が薄い
- 外部品質評価を受けるレベル、体制に達していない
- 必要性は認めるが、検討段階で結論がでていない

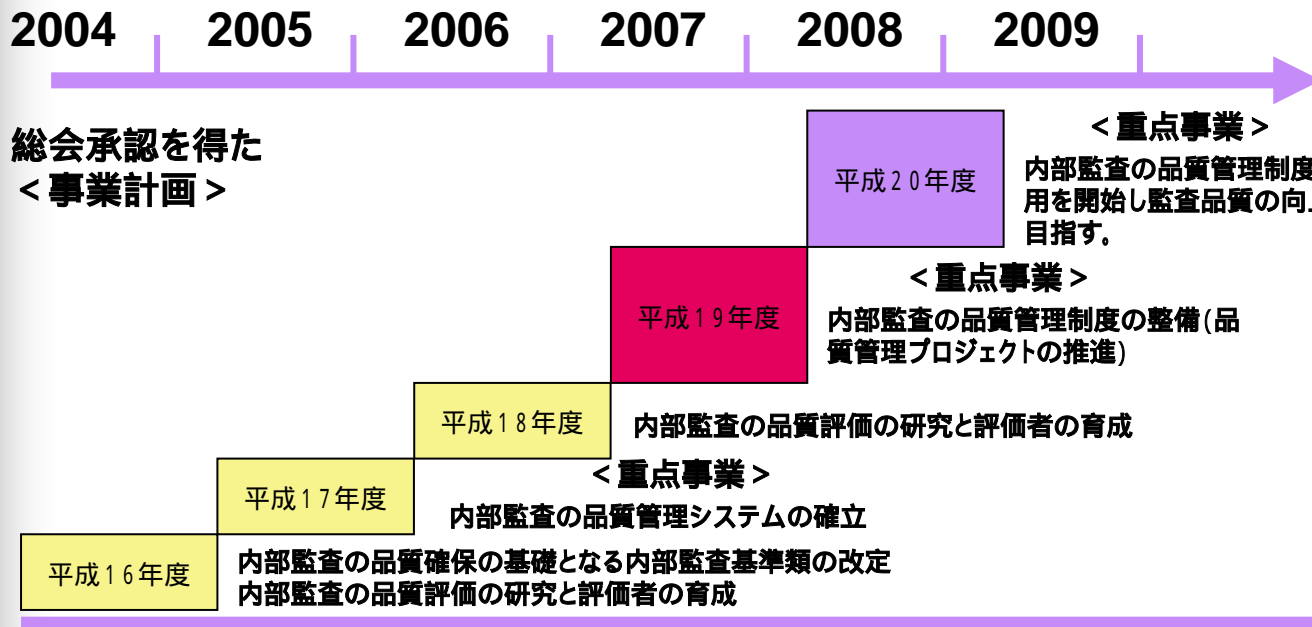
Part 4 わが国における今後の針路

- ・日本内部監査協会のこれまでの取り組み
- ・わが国における今後の針路(2008年6月現在)



The Time for Quality is Now

日本内部監査協会のこれまでの取り組み



- ＜事業実績＞
- ▽ 国際本部品質評価委員委嘱
 - ▽ 国際本部品質評価委員委嘱
 - ▽ 米国における内部監査の品質評価制度の実態調査
 - 「重点事業として協会が定常的な取り組みを開始」
 - ▽ 内部監査の品質評価専門家の採用
 - ▽ 品質評価基準検討委員会発足
- 「講演会への取り組み」
- ▽ SAM研究会
 - ▽ 内部監査研究部会
 - ▽ 私鉄部会
 - ▽ 内部監査基礎コース
 - ▽ 損害保険部会
 - ▽ 銀行証券部会
 - ▽ 情報産業部会
 - ▽ 第41回内部監査推進全国大会
 - ▽ 第40回内部監査推進全国大会
 - ▽ 内部監査人協会アジア大会(第39回全国大会)
 - ▽ 第38回内部監査推進全国大会
 - ▽ 内部監査の品質評価マニュアル(第4版)解説会
 - ▽ 内部監査の品質評価マニュアル(第5版)ツール翻訳公表(CIAフォーラム)
- 「基準・マニュアル等の整備への取り組み」
- ▽ IIA専門職的実施のフレームワーク翻訳公表
 - ▽ 品質評価基準表発表(CIAフォーラム)
 - ▽ IIA専門職的実施のフレームワーク翻訳公表
 - ▽ 内部監査基準改定(品質管理を含む)
 - ▽ 内部監査の専門職的実施の国際基準を翻訳公表(品質評価を含む)
 - ▽ 品質評価レビュートレーニングコース英語版開催
 - ▽ 内部監査の品質評価マニュアル(第4版)を翻訳出版

The Time for Quality is Now

わが国における今後の針路

IIA本部の取り組みを調査07年
IIA本部の品質評価に参加07年

日本内部監査協会
品質評価基準検討委員会発足07年
同、作業部会発足08年

推進体制

認識向上

実施状況
調査

日本内部
監査協会

品質評価大会部会説明07 - 08年
品質評価個別相談 07 - 08年

グローバルサーベイ実施
07年、08年

研修体制

実施体制

適用ガイド

品質評価マニュアル翻訳 07 - 08年
品質評価ガイド検討 08年

The Time for Quality is Now



The Time for Quality is Now



研修体制整備 「内部監査の品質評価レビュー実施コース」 (2009年予定)


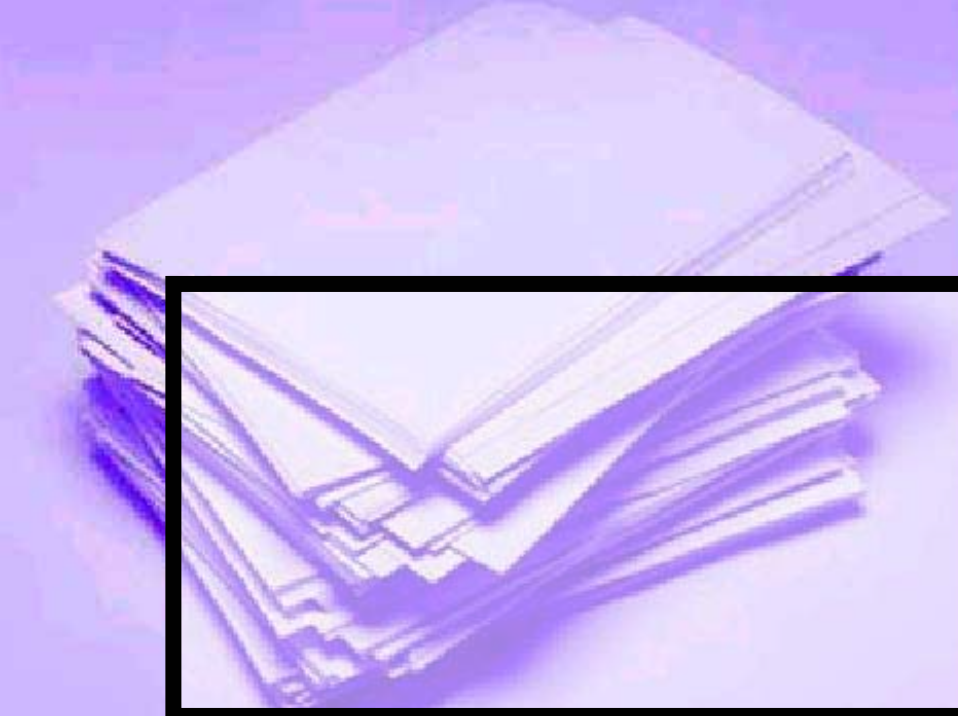
-IIA国際本部のコース例 -
Internal Audit Quality Assessment Performing the Reviews



開催：定期的、全米各地
期間：2.5日
講師：2名 品質評価熟達者
生徒：25名程度



教材：研修コーステキスト
品質評価マニュアル
専門職的実施のフレームワーク



ご清聴
ありがとうございました
(社)日本内部監査協会



(別紙1)ご参考

品質評価に関する資料

- 内部監査の品質評価マニュアル(和文)
 - 内部監査人協会編 同文館出版
(第4版)……………書店で購入可能
- 内部監査の品質評価マニュアル(英文)
 - 内部監査人協会編 IIA国際本部
(第5版V1.1)…IIA本部WEBサイトで購入可能
- 機関誌 月刊監査研究 ……会員限定
 - 2006年11月 特集「内部監査の品質評価」
 - 最近の動向とこれからの課題
 - 内部監査の品質評価マニュアル
(第5版V1.0ツール編)
 - 2008年01月 「内部監査の品質評価」
 - IIA国際本部の取り組みとわが国における今後の針路

The Time for Quality is Now

(別紙2 - 1) 日本内部監査協会の活動ご紹介 内部監査の研修 / 研究

< 研修 >

< 会員向け教育研修 >

- ・ 監査問題解説コース
- ・ IIA 監査情報解説コース
- ・ 内部監査基礎コース(東京)
- ・ 内部監査基礎コース(大阪)
- ・ 内部監査基礎コース(名古屋)
- ・ 内部監査基礎コース(福岡)

< 内部監査についての体系的な教育研修 >

- ・ 内部監査基礎講座
- ・ 実務演習 ・ 基礎
- ・ 実務演習 ・ 実践
- ・ 実務演習 ・ 応用
- ・ 内部監査事例研究

< 特別研修会 >

- ・ 内部監査に影響ある時宜のテーマに関し
必要に応じて実施
- ・ 内部監査人のビジネススキル・アップ研修
- ・ 簿記、会計、税務に関するレベル別コース 等

< 専門分野についての教育研修 >

- ・ 情報システム監査基礎講座
- ・ 情報システム監査実践講座
- ・ 金融内部監査実務講座
- ・ CSA実践セミナー
- ・ CIAレビューコース



< 研究 >

< 業種別研究会 >

- ・ 銀行証券部会
- ・ 東西私鉄内部監査研究会
- ・ 生命保険部会
- ・ 損害保険部会
- ・ 貿易商社部会
- ・ 流通部会
- ・ 鉄鋼各社内部監査会議
- ・ 情報産業部会
- ・ 電機部会
- ・ 建設部会
- ・ 私鉄部会



< 地域別研究会 >

- ・ 中部地区監査研究会議
- ・ 九州地区監査研究会議
- ・ 関西地区監査研究会
- ・ 中国・四国地区監査研究会議

< 属性別研究会 >

- ・ SAM研修会 (SAM: Senior Auditor Members)
- ・ ガバナンス研究会
- ・ CIAフォーラム / 全体会議及び個別研究会
 - ・ 欧米における内部監査実務研究とベストプラクティスの探求
 - ・ ガバナンス研究会 (監査役、J-SOX、COSOモニタリングガイドンス分科会)
 - ・ 内部監査の品質評価 (3チーム)
 - ・ CSAを中心としたセルフアセスメント研究会
 - ・ FIAPワーキンググループ
 - ・ GAITプリンシプルの動向と研究
 - ・ ERM研究会 (第四期)
 - ・ システム監査の実施方法
 -

The Time for Quality is Now

(別紙2 - 2) 日本内部監査協会の活動ご紹介 内部監査の資格制度運営

国際資格

- CIA (Certified Internal Auditor)
公認内部監査人
- C C S A (Certification in Control Self-Assessment)
内部統制評価指導士
- C F S A (Certified Financial Services Auditor)
公認金融監査人

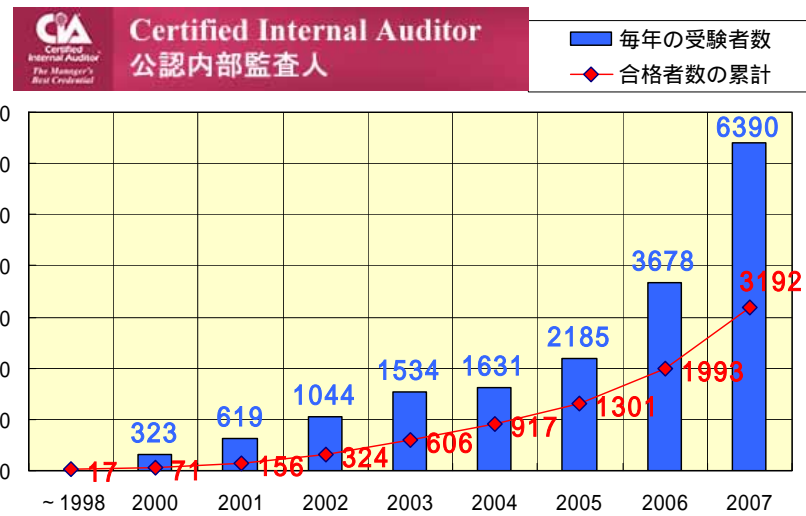
国内資格

- 内部監査士
- 情報システム監査専門内部監査士
- 金融内部監査士

CIA試験受験者と と累積合格者

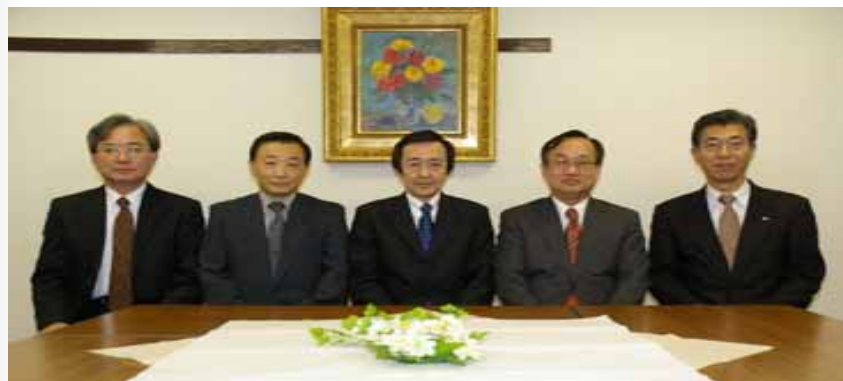


2008.5より年間を通し
日本各地で受験可能に



The Time for Quality is Now

(別紙2 - 3) 日本内部監査協会の活動ご紹介 大会 / 講演会などの活動



2007.4

月刊監査研究 / 誌上座談会

「内部統制報告制度における
内部監査人の役割」

青山学院大学大学院会計プロ
フェッション研究科教授
日本内部監査協会名誉会員

八田進二氏 他



2008.3

特別講演会(東京 / 京都)

「COSO首脳、内部統制と内部監査への思いを語る」

COSO(トレッドウェイ委員会組織委員会)委員長

Larry Rittenberg氏

2007.9

創立50周年記念式典
/ 特別講演

「内部監査に関する世界の
動向と課題」

IIA国際本部上級副会長

Patricia K. Miller氏

(IIAはCOSOを構成する5組織の1つ)

The Time for Quality is Now

(別紙2 - 4) 日本内部監査協会の活動ご紹介 機関誌・図書発行編集

日本内部監査協会機関誌(会員配布)
月刊監査研究

機関誌: 月刊監査研究

日本内部監査協会発行図書(直接販売)

- 内部監査実務全書
- 監査白書(監査総合実態調査)
- 内部監査人協会「専門職の実施のフレームワーク」
- ビジネスリスク評価の実務
- CIA試験参考問題集2004
- 統制自己評価: 実践的ガイド
- 独立性と客観性 - 内部監査人のためのフレームワーク -
- CCSA資格認定試験スタディガイド
- コントロール・セルフアセスメント - 「陥りやすいミス」、解決のヒント、テクニック -
- オペレーショナルリスク - 金融機関の新たな挑戦 -
- 全社リスクマネジメント-近年の動向と最新実務 -
- 内部監査人のための市場リスク監査入門 - デリバティブ戦略を監査する -
- 現代内部監査の論点
- 続 現代内部監査の論点
- アウトソーシングと監査 - 新しい内部監査の役割 -
- ソイヤーの内部監査 - 現代内部監査の実践【第1 - 4分冊】
- インターナル・コントロール あるマネージャーの旅
- 第51回内部監査実施状況調査結果 - 2006年度における各社の内部監査テーマ・要点集



日本内部監査協会編集図書(出版社/書店)

- 内部監査の品質評価マニュアル - 有効性と価値の向上のために -
- 監訳 / 松井隆幸 訳者 / 日本内部監査協会品質評価マニュアル翻訳委員会
- 現代の実践的内部監査(改訂版) 編 / 日本内部監査協会 著 / 川村真一
- 情報システム監査の基礎と実践 編 / 日本内部監査協会 著 / 喜入博・島田裕次・角田善弘
- 簡易版COSO内部統制ガイダンス 監訳 / 日本内部監査協会・八田進二 訳 / 橋本尚・町田祥弘・久持英司
- ここから始めるIT監査 編 / 日本内部監査協会 著 村田一・吉武一・金田雅子・芳野耕治
- 内部監査人の実務ハンドブック - 内部統制システムに役立つ実務手引き(CD-ROM付)
- 編 / 日本内部監査協会 著 / 島田裕次・宮下正博・五井孝・森田卓哉・村田一・北村秀二

The Time for Quality is Now

(別紙2 - 5) 日本内部監査協会の活動ご紹介 WEBから情報発信

社団法人日本内部監査協会

www.iiajapan.com

IIA (内部監査人協会)

入会ご案内

事務局ご案内

内部監査基準

専門職の実施の国際基準

倫理綱要

強化推進のための提言

資格認定制度

継続教育制度(CPE)

出願用紙

CIAフォーラム研究会

事業予定

研修会受付

研修会(会員限定)

研究会(会員限定)

図書・資料ご案内

CSA資料集

ERM資料集

ガバナンス資料集

IT監査資料集

インフォメーション

内部監査求人情報

リンク集



公認内部監査人
CIA

内部統制評価指導士
CCSA

公認金融監査人
CFSA

The Institute of
Internal Auditors
IIA

会員サイト
Members Only

新着情報

- 2008/05/15 『内部監査実務全書 第三版【上巻】』受付を開始
- 2008/05/15 『品質評価の進捗状況に関する年次調査回答期限延長』のお知らせ
- 2008/05/15 CIAフォーラム研究会No.27がメンバー(資格保持者を対象)募集を開始
- 2008/05/14 会員サイト内『2008年度 第1回・第2回監査問題解説コース』開催案内を掲載
- 2008/05/13 『第21期「情報システム監査専門 内部監査士」認定講習会』開催案内を掲載
- 2008/05/13 『第3回金融内部監査実務講座(東京)』開催案内を掲載
- 2008/05/08 『第3回北大共同開催セミナー会場変更』のお知らせ
- 2008/04/28 『CIA試験 CBT主要画面のご紹介』を掲載
- 2008/04/21 『品質評価の進捗状況に関する年次調査へのご協力をお願い』を会員サイト内に掲載
- 2008/03/27 『特別セミナー(in広島 /in岡山)2008』開催案内を掲載
- 2008/03/24 『北海道大学会計専門職大学院・(社)日本内部監査協会第3回共同開催セミナー』

The Time for Quality is Now

(別紙2 - 6) 日本内部監査協会の活動ご紹介 IIAの国際交流活動



IIA国際大会	オランダ・アムステルダム	IIA国際本部 フロリダ
(年1回)	米国サンフランシスコ	2007.7
国際委員会活動	オランダ・アムステルダム	2008.7
(年2回)	米国オーランド	2007.7
		2007.11

IIA Executive Committee, IIA Board of Regents, IIA Committee on Quality, IIA Advanced Technology Committee, International Conference Committee, IIA Academic Relationship Committee, IIA Professional Seminars Committee, IIA International Relations Committee



IIA Committee on Quality (品質評価委員会) 2007.11 フロリダ

社団法人 日本内部監査協会

(1) 品質評価に関するご照会

q a @ i i a j a p a n . c o m
0 3 6 2 1 4 2 2 3 1

(2) その他 ご入会 / 試験 / 研修 / 内部監査に関するご照会など

東京本部

www.iiajapan.com

03 - 6214 - 2231 (代表)

03 - 6214 - 2232 (試験直通)

104 - 0031 東京都中央区

京橋3 - 3 - 11 京橋サウス

大阪支部

06 - 4792 - 1155 (代表)

540 - 0026 大阪市中央区

内本町2 - 1 - 13 内本町住生・大西ビル4F